

RWPPI: RWプロダクツ プロモーション イニシアティブ
RDVDC: 記録型DVD会議

**DVD機器業界最大規模の共同互換性試験を実施
54社が参加し、のべ142モデルで互換性を確認**

RWプロダクツ プロモーション イニシアティブ(略称RWPPI、代表:相澤宏紀)と記録型DVD会議(略称RDVDC、議長:具 本國)は、2004年9月より共同で実施していた記録可能なDVDである4倍速DVD-RW、8倍速DVD-R、5倍速DVD-RAMそれぞれに対応した製品間での互換性試験をこのたび終了し、3月11日にドイツ・ハノーバーで開催されているCeBIT*2005会場において、合同で検証結果を発表しました。今回の互換性試験は、RWPPIとRDVDCが2003年9月から実施している共同互換性検証活動の一環であり、前回は2倍速DVD-RW、4倍速DVD-R、3倍速DVD-RAMの成果発表を2004年6月にしております。これらの検証成果の詳細は、RWPPIとRDVDCそれぞれのホームページで公開いたします。

このたびの共同互換性試験では、参加企業54社から、のべ142モデルが参加し、試験項目は449項目に及びました。すなわち、記録可能なDVDに関連する世界のほぼ全ての主要なメーカー(ハード、メディア、PCアプリケーション他)の機器、製品間における、対象とする記録速度(DVD-RW:4倍速、DVD-R:8倍速、DVD-RAM:5倍速)での記録・再生互換に関する検証が行われたこととなります。RWPPIラウンドロビンテストと、RDVDC互換性ワーキンググループ双方の会員が、所属団体に限定されず互いに参加する形で共同互換性試験を進めました。具体的には、以下のような成果が得られました。

- (1) DVD-RW/DVD-Rディスクと対応ライターの記録物理特性に関して、ディスクメーカー23社、32モデル、及びライターメーカー12社、12モデル間で、合計120項目の試験を行い、安定した記録品質が確保されている事を確認しました。
- (2) DVD-RW/DVD-R対応ライターに関して、10社、10モデル間にて合計148の確認項目の論理互換性試験を実施、参加モデル間での記録・再生互換性を確認し、同時に参加メンバーの規格に関する共通理解を一層深めることができました。
- (3) DVD-RW/DVD-R対応レコーダー、及びPCオーサリングソフトに関して、13社、13モデル間での記録・再生・編集機能28項目(ビデオモード:NTSC/PAL、VRモード:NTSC)にわたって高い互換性を確認しました。
- (4) DVD-RW/DVD-R対応プレーヤー、ドライブ、及びPC再生ソフトウェアに関して、合計22社、45モデルにより、上記(3)で録画されたディスクを使用し5項目での再生互換性評価を行い、広範な環境下での再生互換を確認しました。
- (5) 5倍速DVD-RAMテスターを保有する6社間で、64項目の試験を行い、各社のテスター間で互換性を確認しました。また統一試験方法を確立し、評価用標準ディスクも作成しました。
- (6) 5倍速DVD-RAMディスクとドライブに関して、12社、14モデル間での34項目の試験を行い、参加モデル間の互換性を確認しました。また統一試験方法を確立し、評価用標準ディスクも作成しました。
- (7) DVD-RAM向けDVD-VRモード対応製品に関して、11社、16モデル間で50項目の試験を行い、参加モデル間で互換性を確認しました。またDVD-RAM VR Modeの CPRM^{*2} についても試験を行い、参加製品間で動作を確認しました。

(8) DVD-RAM5倍速ディスクの5倍速に加え、2倍速・3倍速(下位互換)について試験を行い、参加社製品間で互換性を確保しました。

今回の検証結果を加え、DVD-RWは2倍速と4倍速、DVD-Rは4倍速と8倍速、DVD-RAMは3倍速と5倍速に関して、現在までに、総計282モデルの互換性検証を終えたこととなります。

RWPPIとRDVDCは、このような共同互換性試験を今後開発される一層の高倍速メディアに対しても継続し、更なる参加企業を加え、製品間での記録・再生互換性を高めることで、今後のDVD市場全体の発展のために協力して積極的に活動を継続して参ります。

*1 CeBIT2005:世界最大のITショー。2005年3月10日より16日までドイツのハノーバーで開催。50万人以上の来場者が見込まれる。

*2 CPRM: Content Protection for Recordable Media. DVD-R/RW/RAMに採用されている著作権保護技術。

●RW プロダクツ プロモーション イニシアティブ (RWPPI) <<http://www.rwppi.com>>

RWPPIは、録画が可能なDVD-RW/DVD-R規格に基づいた関連製品の市場における円滑な普及・促進を目指しています。2000年5月に発足して以来、会員による共同プロモーション、DVD-RW/DVD-R製品に関する各種推奨仕様の提案や、ハードとメディアの互換性確保などの活動を実施しています。

●記録型DVD会議 (RDVDC) <<http://www.rdvdc.org>>

記録型DVD会議は、DVDフォーラムで策定された記録型DVD規格(DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW)の普及・促進を図るために、2001年4月に発足しました。会員相互の情報交換、互換性向上の推進、展示会での製品共同プロモーションなどの活動を行っています。

<報道関係からのお問い合わせ先>

RW プロダクツ プロモーション イニシアティブ事務局 電話:03-3495-9876

記録型DVD会議 事務局 電話:06-6905-4118

<付録>今回の共同互換性試験に参加したメーカー (50音順)

アルパイン株式会社、株式会社アルメディア、インタービデオジャパン株式会社、株式会社 AMC、SKC Co.,Ltd、MJC(SINGAPORE) PTE LTD、LG 電子ジャパン株式会社、Optodisc Technology Corporation、オリオン電機株式会社、Gigastorage Corporation、株式会社ケンウッド、サイバーリンク株式会社、三星電子株式会社、三洋電機株式会社、CMC Magnetics Corporation、シナノケンシ株式会社 (Plextor)、シャープ株式会社、ソニー株式会社、太陽誘電株式会社、Daxon Technology Inc.、ティアック株式会社、TDK株式会社、株式会社デジオン、株式会社デノン、株式会社東芝、東芝サムスン ストレージ・テクノロジー株式会社、Nan Ya Plastics Corporation、日本電気株式会社、日本ビクター株式会社、New Star Digital Japan Co.,、New Star Digital Co., Ltd. NewSoft Technology Corporation、Nero AG、パイオニア株式会社、パナソニック コミュニケーションズ株式会社、Princo Corporation、株式会社日立 LG

データストレージ、株式会社日立製作所、日立マクセル株式会社、株式会社ビー・エイチ・イー、富士写真フイルム株式会社、船井電機株式会社、Prodisc Technology Inc.、松下寿電子工業株式会社、松下電器産業株式会社、三菱化学メディア株式会社、三菱電機株式会社、MedioStream、Inc.、Moser Baer India Ltd、ヤマハ株式会社、ユーリードシステムズ株式会社、RITEK Corporation、Lead Data Inc.、UmeDisc Ltd